平成29年5月
勝浦市議会臨時会会議録（第1号）

平成29年5月17日

○出席議員 15人

2番 高梨弘人君	3番 久我恵子君	4番 照川由美子君
5番 磯野典正君	6番 鈴木克己君	7番 戸坂健一君
8番 佐藤啓史君	9番 黒川民雄君	10番 末吉定夫君
11番 松崎栄二君	12番 丸昭君	13番 岩瀬洋男君
14番 土屋元君	15番 岩瀬義信君	16番 寺尾重雄君

○欠席議員 1人

1番 藤本治君

○地方自治法第121条の規定により出席した者の職氏名

市長 猿田寿男君	副市長 関重夫君
教育長 藤平益貴君	総務課長 酒井清彦君
企画課長 軽込一浩君	財政課長 齋藤恒夫君
税務課長 土屋英二君	福祉課長 関富夫君
都市建設課長 鈴木克己君	

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局長 渡辺茂雄君 議事係長 原隆宏君

議事日程

議事日程第1号

第1 会期の決定

第2 会議録署名議員の指名

第3 勝浦市議会議長の辞職の許可について

第4 議案上程・説明・質疑・討論・採決

議案第24号 専決処分の承認を求めることについて

(勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について)

議案第25号 専決処分の承認を求めることについて

(勝浦市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について)

議案第26号 専決処分の承認を求めることについて

- (勝浦市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について)
- 議案第27号 専決処分の承認を求めることについて
(平成28年度勝浦市一般会計補正予算)
- 議案第28号 勝浦市個人情報保護条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第29号 平成29年度勝浦市一般会計補正予算
- 議案第30号 財産の取得について
-

開 会

平成29年5月17日(水) 午前10時開会

○議長(寺尾重雄君) ただいま出席議員は15人で定足数に達しておりますので、議会はここに成立いたしました。

これより平成29年5月勝浦市議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の日程は、あらかじめお手元へ配付したとおりでありますので、それによってご承知を願います。

会 期 の 決 定

○議長(寺尾重雄君) 日程第1、会期の決定を議題といたします。

今期臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(寺尾重雄君) ご異議なしと認めます。よって会期は1日と決しました。

会 議 録 署 名 議 員 の 指 名

○議長(寺尾重雄君) 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、議長において久我恵子議員及び黒川民雄議員を指名いたします。

勝浦市議会議長の辞職の許可について

○議長（寺尾重雄君） 次に、上程されます案件は、議長に直接関係ある事件でありますので、この際、副議長と交代いたします。

〔議長、副議長と交代〕

○副議長（佐藤啓史君） ただいま議長から申された事情により、副議長がかわりまして、議事の運営を図ります。

日程第3、勝浦市議会議長の辞職の許可についてを議題といたします。ただいま議題となっております本件は、寺尾重雄議員の一身上に関する事件でありますので、本件が確定するまで、地方自治法第117条の規定により、寺尾重雄議員は除斥該当であります。寺尾重雄議員の退席を求めます。

〔16番 寺尾重雄君退席〕

○副議長（佐藤啓史君） それでは、辞職願を朗読させます。渡辺事務局長。

〔事務局長朗読〕

○副議長（佐藤啓史君） お諮りいたします。寺尾重雄議員の議長の辞職を許可することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（佐藤啓史君） ご異議なしと認めます。よって、寺尾重雄議員の議長の辞職を許可することに決しました。

〔16番 寺尾重雄君入席〕

○副議長（佐藤啓史君） 前議長の寺尾重雄議員から発言を求められておりますので、この際、これを許可します。寺尾重雄議員。

〔16番 寺尾重雄君登壇〕

○16番（寺尾重雄君） ただいま議長の辞任届けをお受けいただき、まことにありがとうございます。せんだって、私ごとで、勝浦市民及び勝浦市議会の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしまして、心より反省とおわびを申し上げます。まことに申しわけございませんでした。勝浦市議会議長の立場でありながら、テレビ、新聞、インターネット等で勝浦市議会の品位を落としたことになりまして、釈明のしようがありません。報道されたことが全て事実ではありませんが、留置されたことは事実であります。言いわけはいたしません。私の行為行動が法に反しているのであれば、法に従うのみでございます。

最後に、皆さんにご協力のほどを願いました1年間、県南市議会議長会の会長として職務を遂行できたことに心より感謝申し上げ、私の議長の退任の挨拶といたします。

○副議長（佐藤啓史君） ただいま議長が欠員となりました。

お諮りいたします。この際、議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（佐藤啓史君） ご異議なしと認めます。よって、この際議長の選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

議 長 の 選 挙

- 副議長（佐藤啓史君） これより勝浦市議会議長の選挙を行います。
選挙は投票により行います。議場を閉鎖いたします。
〔議場閉鎖〕
- 副議長（佐藤啓史君） ただいまの出席議員数は15人であります。投票用紙を配付いたします。
〔投票用紙配付〕
- 副議長（佐藤啓史君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
- 副議長（佐藤啓史君） 配付漏れなしと認めます。
投票箱を改めます。
〔投票箱点検〕
- 副議長（佐藤啓史君） 異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。
点呼いたします。渡辺事務局長。
〔氏名点呼・投票〕
- 副議長（佐藤啓史君） 投票漏れはありませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
- 副議長（佐藤啓史君） 投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。
議場の閉鎖を解きます。
〔議場開鎖〕
- 副議長（佐藤啓史君） 開票を行います。会議規則第31条第2項の規定により、立会人に久我恵子議員及び照川由美子議員を指名いたします。よって、両議員の立ち会いを願います。
〔開 票〕
- 副議長（佐藤啓史君） 選挙の結果を報告いたします。
投票総数15票、これは先ほどの出席議員数に符号いたしております。そのうち有効投票15票、無効投票ゼロ票、有効投票中、岩瀬洋男議員14票、佐藤啓史議員1票、以上のおりであります。この選挙の法定得票数は4票であります。よって、岩瀬洋男議員が議長に当選されました。
ただいま議長に当選されました岩瀬洋男議員が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。
当選承諾のご挨拶をお願いいたします。
〔13番 岩瀬洋男君登壇〕
- 13番（岩瀬洋男君） ただいま選挙によりまして、議長に当選させていただきました。ありがとうございました。今年度は、昨年度以上に、今まで以上に市民の皆様方の厳しい視線の中での始まりとなります。大変緊張いたしております。議会運営に関しましても公平で円滑な議会運営を行っていきたいというふうに考えておりますので、皆様方のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）
- 副議長（佐藤啓史君） 以上をもって、議長の選挙が終了いたしました。新議長と交代いたします。

〔副議長、新議長と交代〕

○議長（岩瀬洋男君） それでは、副議長と交代いたしました。議会運営に関しましては至ってふなれでございますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

議案上程・説明・質疑・討論・採決

○議長（岩瀬洋男君） それでは、市長より議案の送付がありましたので、職員に朗読させます。原係長。

〔職員朗読〕

○議長（岩瀬洋男君） ただいま朗読いたしました議案は、お手元へ配付したとおりであります。それでは、日程第4、議案を上程いたします。

議案第24号 専決処分の承認を求めることについて、議案第25号 専決処分の承認を求めることについて、議案第26号 専決処分の承認を求めることについて、以上3件を一括議題といたします。市長から提案理由の説明を求めます。猿田市長。

〔市長 猿田寿男君登壇〕

○市長（猿田寿男君） ただいま議題となりました議案第24号から議案第26号までの提案理由の説明を申し上げます。

これらの議案は、いずれも去る3月31日に専決処分した条例であり、地方自治法第179条第3項の規定により議会に報告し、ご承認をいたごうとするものであります。

初めに、議案第24号 専決処分の承認を求めることについて申し上げます。

本案は、「地方税法及び航空機等燃料譲与税法の一部を改正する法律」及び「地方税法施行令の一部を改正する政令」並びに「地方税法施行規則の一部を改正する省令」が平成29年3月31日にそれぞれ公布され、原則として同年4月1日から施行されることに伴い、勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について、課税事務上、緊急を要するため、去る3月31日に専決処分をいたしましたので、議会に報告し、ご承認をいたごうとするものであります。

主な改正内容について申し上げますと、1点目は、震災等を受けた被災者に対する固定資産税の課税の特例について、復旧や復興の動きにおくれることなく税制上の対応を手当てする観点から、特例規定を常設化したこと。

2点目は、固定資産税に係る課税標準の特例措置のうち、軽減割合を一定の範囲内で地方自治体が主体的に判断し、条例で決定できる地域決定型税制特例措置、いわゆる「わがまち特例」が追加されたことに伴い、所要の改正を行ったこと。

3点目は、軽自動車税の燃費性能に応じて税率を軽減する特例措置、いわゆる「グリーン化特例」について、平成28年度末で期限切れとなることから、重点化を図った上で特例期間を2年間延長したことであります。

また、このほか、法令の改正に伴う規定の整備をしたものであります。

次に、議案第25号 専決処分の承認を求めることについて申し上げます。

本案は、過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律が平成29年3月31日に公布され、

同年4月1日から施行されることに伴い、勝浦市過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について、課税事務上緊急を要するため、去る3月31日に専決処分をいたしましたので、議会に報告し、ご承認をいただこうとするものであります。

改正内容について申し上げますと、過疎地域自立促進特別措置法の一部改正により、固定資産税の課税免除または不均一課税に伴う措置の対象事業から、情報通信技術利用事業、いわゆるコールセンターが除外され、農林水産物等販売業が追加されたことに伴い、本条例において引用する固定資産税の特例措置の対象となる事業名を改めようとするものであります。

次に、議案第26号 専決処分の承認を求めることについて申し上げます。

本案は、「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律」の施行、さらには「租税特別措置法施行令等の一部を改正する政令」が平成29年4月1日から施行されることに伴い、勝浦市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について、緊急を要するため、去る3月31日に専決処分をいたしましたので、議会に報告し、ご承認をいただこうとするものであります。

改正内容について申し上げますと、過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律及び租税特別措置法施行令の一部を改正する政令により、固定資産税の課税免除または不均一課税に伴う措置の対象事業のうち、情報通信技術利用事業、いわゆるコールセンターが除外され、農林水産物等販売業が追加されたことを受けて、本条例第2条において奨励金措置の対象となる事業に関する規定を改めようとするものであります。

以上で、議案第24号から議案第26号までの提案理由の説明を終わります。

○議長（岩瀬洋男君） これより質疑に入るのでありますが、質疑に際しましては、議案番号をお示し願います。

ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第24号ないし議案第26号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、議案第24号ないし議案第26号については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第24号 専決処分の承認を求めることについてを採決いたします。本案を承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第24号は、承認することに決しました。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、議案第25号 専決処分の承認を求めることについてを採決いたします。
本案を承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第25号は、承認することに決しました。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、議案第26号 専決処分の承認を求めることについてを採決いたします。
本案を承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第26号は、承認することに決しました。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、議案第27号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。
市長から提案理由の説明を求めます。猿田市長。

〔市長 猿田寿男君登壇〕

○市長（猿田寿男君） ただいま議題となりました議案27号 専決処分の承認を求めることについて
提案理由の説明を申し上げます。

本案は、平成28年度一般会計補正予算であります。

今回の補正予算は、歳入歳出予算の補正であり、ふるさと応援寄附金の寄附額が、2月及び3月においても予算を大幅に上回る金額であったことから、ふるさと応援基金への積立金の追加及びふるさと応援寄附者報償費等のふるさと応援寄附者特産品等贈呈事業の精算による減額と、これに伴う繰入金を減額し、あわせて歳入剰余金を財政調整基金へ積み立てるための予算であり、緊急を要することから、去る3月31日に専決処分をいたしましたので、地方自治法第179条第3項の規定により議会に報告し、ご承認をいたごとうとするものであります。

内容について申し上げますと、歳入歳出予算においては、既定予算から9億5,400万円を減額し、これによる予算総額は124億3,463万7,000円としたものであります。

歳出予算においては、財産管理費に2億6,100万円を追加し、諸費で12億1,500万円を減額したものであります。

これに対する財源として、歳入予算に寄附金2億円を追加計上し、繰入金11億5,400万円を減額したものであります。

以上で、議案第27号の提案理由の説明を終わります。

○議長（岩瀬洋男君） これより質疑に入るのですが、ただいまのところ通告はありません。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第27号については、会議規則第37条第

3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、議案第27号については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第27号 専決処分の承認を求めることについてを採決いたします。本案を承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第27号は、承認することに決しました。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、議案第28号 勝浦市個人情報保護条例等の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。市長から提案理由の説明を求めます。猿田市長。

〔市長 猿田寿男君登壇〕

○市長（猿田寿男君） ただいま議題となりました議案第28号 勝浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由の説明を申し上げます。

平成27年9月に改正されました「個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律」の一部が、平成29年5月30日から施行されることに伴い、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」、いわゆる「番号法」において、市町村で定めた独自利用事務についても、法定事務と同様に情報提供ネットワークシステムを利用して、情報連携を行うことが可能となりました。

本案は、番号法において新たな条項が新設され、以降の条項が1条ずつ繰り下げられたため、本条例で引用する番号法の条項を改めようとするものであります。

また、市町村で定めた独自利用事務の情報連携について、番号法において法定事務の取り扱いを準用する規定が設けられ、また、読替規定が改正されたため、本条例で引用する用語について所要の改正を行おうとするものであります。

以上で、議案第28号の提案理由の説明を終わります。

○議長（岩瀬洋男君） これより質疑に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第28号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、議案第28号については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第28号 勝浦市個人情報保護条例等の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第28号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、議案第29号 平成29年度勝浦市一般会計補正予算を議題といたします。市長から提案理由の説明を求めます。猿田市長。

〔市長 猿田寿男君登壇〕

○市長（猿田寿男君） ただいま議題となりました議案第29号 平成29年度勝浦市一般会計補正予算について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出予算の補正であります。

歳入歳出予算におきましては、既定予算に1億5,432万円を追加し、予算総額を91億3,032万円にしようとするものであります。

歳出予算のうち、総務費においては、元千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスの購入予定に伴う財産管理費を8,442万円、松野区へのコミュニティ助成事業により諸費を240万円追加し、商工費においては、勝浦市企業立地促進条例に基づく雇用促進奨励金の交付により商工業振興費を350万円追加し、土木費においては、勝浦若潮キャンパスに隣接する市道保羅口女卸線の整備に伴い警察との交差点協議を行った結果、掘削工事等が増加したことに伴い、道路新設改良費を6,400万円追加しようとするものであります。

これに対する財源として、繰入金1億5,192万円、諸収入240万円を追加計上しようとするものであります。

以上で、議案第29号の提案理由の説明を終わります。

○議長（岩瀬洋男君） これより質疑に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。戸坂健一議員。

○7番（戸坂健一君） 私からは2点質問をさせていただきます。

まず6ページの総務管理費の財産管理費、元県立大原高等学校若潮キャンパス購入事業についてであります。購入財産の購入費として8,442万円と計上されております。この予算について、かなり額が大きいので、本来であれば、定例会に計上すべき予算と思いますが、今回の臨時会に計上された理由についてお聞かせください。

また、2点目ですが、7ページ、商工費の商工業振興費、企業立地推進事業についてです。企業立地促進条例に基づく雇用促進奨励金の交付ということで50万円の7人分ということで計上さ

れておりますが、この申請をいただいた企業について、市外の方が新規に立ち上げた事業所なのか、あるいは市民の方がベンチャーとして立ち上げたものなのか、また、どのような業種なのか、会社名はあげられないと思いますので、業種と市内、市外の別についてお聞かせください。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） 答弁を求めます。軽込企画課長。

○企画課長（軽込一浩君） お答えいたします。1点目の、元大原高校勝浦若潮キャンパスの購入費でございますけれども、議員おっしゃいますように、本来ですと6月定例会の計上も考えられるところでございますけれども、この後、若潮キャンパスの整備といたしまして、中央保育所の仮園舎、来年、年度当初の開業を予定しています。また、グラウンド部分につきましては、商業施設の誘致、ほぼ同時期に予定しています。これら予定が決まっておりますことから、今回予算を計上させていただきまして、今後それらの速やかな整備、これらに向けて取り組むために5月補正に計上させていただいた次第でございます。

2点目の企業誘致の関係で、雇用促進奨励金でございますけれども、市外の業種で、業種といたしましては、観光業でございます。7名で計上させていただきましたけれども、全従業員数23名と伺っております。以上でございます。

○議長（岩瀬洋男君） ほかに質疑はありますか。戸坂健一議員。

○7番（戸坂健一君） まず、総務管理費のほうですが、必要性はよくわかりました。こども園と商業施設の整備の関係ということでありますので、重要性がよくわかります。しかしながら臨時議会ですと、委員会の付託もありませんので、より綿密な審査ができにくいという面もございます。今後、このような大きな予算の場合は、よほどの緊急性、必要性がない限りは、できる限り定例会に上程すべきと思いますが、その点、もう一度お考えをお聞かせください。

また、2点目であります。市外の方の業種ということで、市外の方、今後、元清海小学校が執行部の皆様のおかげで、コワーキングオフィス、あるいはシェアオフィスとしてリニューアルをされるということで、できる限り市内にベンチャーや個人事業主の方がふえないと、元清海小学校の未来についてもなかなか難しいところがあるのかなと思います。そうした中で、企業立地の奨励金であるとか、雇用奨励金に関して、市内の業者の方が知らない方もまだまだいらっしゃいますので、今後、市内の業者に向けた案内をどのようにしていくのかということだけをお聞かせください。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） 答弁を求めます。軽込企画課長。

○企画課長（軽込一浩君） お答えいたします。1点目の、元大原高校勝浦若潮キャンパスの購入費につきましては、昨年9月議会におきまして、債務負担行為の可決をいただいております、これに基づきまして、県とも調整を進めてきておりまして、この3月に県と契約が締結、整いました。その後、5月臨時会を予定しております、今回その分の予算と合わせて、例えば隣接します市道の整備ですとか、その辺の予算の関係もございまして、この時期に要求を計上させていただいた次第でございます。

2点目の雇用促進奨励金初め企業誘致施策につきましては、市内業者へも積極的に周知に努めまして、パンフレットを市内金融機関におきまして、新たな設備投資と動きがある企業につきましては、我々企業立地推進係のほうで営業と申しますか、出かけて、制度の説明に心がけているところがございます。以上でございます。

○議長（岩瀬洋男君） ほかに質疑はありませんか。鈴木克己議員。

○6番（鈴木克己君） 土木費の道路改良費、交差点改良、一応図面をいただいているんですけど、これについての詳細、どのような工事で今後やっていくのか。先ほど戸坂議員の質問の中で、とにかく若潮高校跡地を購入した後に速やかにここの整備を行いたいというので、この工事については理解できますけど、その辺の内容についてお伺いします。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） 答弁を求めます。鈴木都市建設課長。

○都市建設課長（鈴木克己君） お答えいたします。この市道保羅口女卸線の道路改良の内容でございますが、現道を切り下げ、幅員を確保する、広げるという工事の内容になっております。幅員の内容でございますが、この資料の平面図、D-Dと書かれた上部の断面下、この道路の幅員等になっております。道路幅員を9.5メートル、そのうち車道が2.75メートル、路側で0.75メートル、片側歩道で2.5メートルということで計画をしております。

今回は、右側のほうにプールと書かれておりますが、ここまでの道路改良ということにしてあります。

現道は、ご存じと思われそうですが、要は、交差点を出てから急に上り坂になっておりますので、道路構造令に適合しませんので、これを切り下げ、なだらかな坂道としていき、上部のほうですりつけていくという内容になっております。

なお、詳細の図面はまだでき上がっておりませんので、あくまでも平面図の上で説明をさせていただきます。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） ほかに質疑はありませんか。鈴木克己議員。

○6番（鈴木克己君） 予算を通った後になりますけど、ここの新しい商業施設のための道路改良ということになると思いますが、その辺の今後の工程というか、商業施設を含めて、まずは道路からと思えますけれども、その辺の工程がわかれば、お聞きしたいと思います。

○議長（岩瀬洋男君） 答弁を求めます。鈴木都市建設課長。

○都市建設課長（鈴木克己君） お答えいたします。まず、道路であります。今回、この補正予算が通過した暁には、警察との協議が今月終了いたしました。これで図面のほうは完成して、納品になるわけですが、その後入札、それで業者を決めて、工事に着手していく予定ですが、工期といたしましては、年度末いっぱいになるのではないかとというふうに考えております。

また、商業施設に関しましては、私のほうで聞いた範囲であります。道路改良工事と商業施設の建設工事は並行して行えるものと思っております。したがって、道路改良工事が終わってからでなければ、商業施設の建設ができないというふうには伺っておりません。商業施設の完成も年度末を予定しているのではないかとというふうには聞いております。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、齋藤財政課長。

○財政課長（齋藤恒夫君） お答えいたします。商業施設の今後の予定ということでございますが、本日この補正予算、またこの次の財産の取得の議決をもしいただければ、その後、ベイシアのほうと賃貸借契約、開店までの間は賃貸借契約という形で締結させていただきたいと思っております。その後、完成次第、事業用借地権設定契約により、今の時点では、20年間という契約を締結させていただければというふうに思っております。まず、その賃貸借契約を締結いたしまして、その後、一部測量には入っておりますが、今の道の関係等もございまして、また測量を調査いたしまして、その後実施設計、解体工事、この解体工事は武道館とかセミナーハウス、この辺につきまし

ては、ベイシアのほう、プロポーザルの段階で業者が取り壊しをしていただくということで協議をしてございます。その分につきましては、賃貸借料からその分引くというような考えも今持っておりますので、それらを解体して、その後、建築工事に、この辺5カ月ぐらいかかるということでございますけれども、来年3月には竣工いたしまして、4月からの開店を目指しているということで、今の時点ではそういう予定で進んでおります。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） ほかに質疑はありませんか。鈴木克己議員。

○6番（鈴木克己君） 詳細、お聞きしました。これは質問というよりも、先ほど前段者の議員が言ったとおり、これだけの高額のもの、また、これだけの大規模な事業を行うに当たっては、本来であれば、定例会ということだと思います。そして、そこの委員会にかけて委員会の中で現地確認するなどの方法が議会としての対応だと思いますので、今後については、その辺十分考えていただいた上での提案をお願いしたいと思います。答弁要りません。以上です。

○議長（岩瀬洋男君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第29号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、議案第29号については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第29号 平成29年度勝浦市一般会計補正予算を採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第29号は、原案のとおり可決されました。

○議長（岩瀬洋男君） 次に、議案第30号 財産の取得についてを議題といたします。

市長から提案理由の説明を求めます。猿田市長。

〔市長 猿田寿男君登壇〕

○市長（猿田寿男君） ただいま議題となりました議案第30号 財産の取得について、提案理由の説明を申し上げます。

本案は、本市の地方創生に向け、先ほどからお話しました元千葉県立大原高等学校勝浦若潮キャンパスを公共施設及び市民利便施設用地として利活用するため、勝浦市出水字女卸1021番52筆ほか21筆、3万4,798平方メートルの土地及び鉄筋コンクリート造り校舎ほか建物1万3,111.84平方メートル、その他これらに附帯する工作物一式を千葉県から県有財産売買契約として8,442万円

で取得するに当たり、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条の規定により、議会の議決を求めようとするものであります。

以上で、議案30号の提案理由の説明を終わります。

○議長（岩瀬洋男君） これより質疑に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。質疑はありませんか。鈴木克己議員。

○6番（鈴木克己君） 非常に早急に対応されているということに対して敬意を表しますというか、市民の望んでいるところを市長は商業施設をつくるということも含めて、県の土地を市のために有効活用するということでは非常にいいかと思えます。価格を決めるに当たって、県有地なので、通常の相場より相当安いんじゃないかと思えますけれども、わかればのお答えで結構です。勝浦高校跡地が、今のところは学校用地なので、査定はされてないかもしれませんが、あの辺の路線価格がもしわかって、それとの比較がわかっていたら、お答えいただきたいと思えます。わからなければ、結構です。

○議長（岩瀬洋男君） 答弁を求めます。軽込企画課長。

○企画課長（軽込一浩君） お答えいたします。取得予定金額の妥当性につきましては、千葉県教育委員会のほうで、不動産鑑定に基づく評価額によりまして、決定された価格と伺っております。当方でも内容といいますか、大方を確認したところ、適正と判断しまして、今回計上させていただきました。価格の算出につきましては、土地につきましては、標準宅地の設定と評価を行うのが一般的ということでございまして、それに基づいての積算かと認識してございます。また、建物につきましては、おおむね50年を経過してございますので、今後もある程度使える建物と、取り壊すべき建物、この辺を種別選定いたしましての価格の積算ということで、それらを相殺いたしまして、8,422万円ということで金額をいただいております。以上でございます。

○議長（岩瀬洋男君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第30号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、議案第30号については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入るのでありますが、ただいまのところ通告はありません。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） これをもって討論を終結いたします。

これより議案第30号 財産の取得についてを採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○議長（岩瀬洋男君） 挙手全員であります。よって、議案第30号は、原案のとおり可決されました。暫時休憩いたします。

午前10時51分 休憩

午前11時15分 開議

副議長辞職の件

〔8番 佐藤啓史君退席〕

○議長（岩瀬洋男君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま副議長の佐藤啓史議員から、副議長の辞職願が提出されております。

お諮りいたします。この際、副議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、この際、副議長辞職の件を日程に追加し、議題といたします。

それでは、辞職願を朗読させます。渡辺事務局長。

〔事務局長朗読〕

○議長（岩瀬洋男君） お諮りいたします。佐藤啓史議員の議長の辞職を許可することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、佐藤啓史議員の副議長の辞職を許可することに決しました。

〔8番 佐藤啓史君入席〕

○議長（岩瀬洋男君） 前副議長の佐藤啓史議員から発言を求められておりますので、この際、これを許可します。佐藤啓史議員。

〔8番 佐藤啓史君登壇〕

○8番（佐藤啓史君） 昨年から都合2年間にわたりまして、勝浦市議会の副議長を務めさせていただきました。この1年間、いろいろな経験をさせていただき、皆様方のご指導、ご鞭撻、そしてご協力をいただきまして、大過なく過ごせたものと思います。特にこの1年間の副議長としての思い出といたしますのは、観光議連を立ち上げたことができたということであります。いろいろ定数について議論があるところでございますけれども、勝浦市議会議員16名しかおりません。党派や思想や信条、垣根を超えて、これからの勝浦の観光をともにみんなで考えようということで、16名全員が参加する形の議連を立ち上げることを推進できたことが、何よりの思い出であります。これからは、今日よりは一議員として、市議会議員として職務を務める覚悟でございます。同僚議員の皆様、市長初め執行部の皆様、そして議会事務局の職員の皆様方より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。副議長退任のご挨拶とさせていただきます。2年間、お世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

副議長の選挙

○議長（岩瀬洋男君） ただいま副議長が欠員となりました。

お諮りいたします。この際、副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） ご異議なしと認めます。よって、この際、副議長の選挙を日程に追加し、選挙を行うことに決しました。

これより副議長の選挙を行います。選挙は投票により行います。議場を閉鎖いたします。

〔議場閉鎖〕

○議長（岩瀬洋男君） ただいまの出席議員数は15人であります。投票用紙を配付いたします。

〔投票用紙配付〕

○議長（岩瀬洋男君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めます。

〔投票箱点検〕

○議長（岩瀬洋男君） 異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票をお願いします。

点呼いたします。渡辺事務局長。

〔氏名点呼・投票〕

○議長（岩瀬洋男君） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（岩瀬洋男君） 投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○議長（岩瀬洋男君） 開票を行います。会議規則第31条第2項の規定により、立会人に久我恵子議員及び照川由美子議員を指名いたします。よって、両議員の立ち会いをお願いします。

〔開 票〕

○議長（岩瀬洋男君） 選挙の結果を報告いたします。投票総数15票、これは先ほどの出席議員数に符合いたしております。そのうち有効投票15票、無効投票ゼロ票、有効投票中、土屋元議員15票、以上のおりであります。この選挙の法定得票数は4票であります。よって、土屋元議員が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました土屋元議員が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

当選承諾のご挨拶をお願いいたします。土屋元議員。

〔14番 土屋 元君登壇〕

○14番（土屋 元君） ただいま皆様よりご推薦いただきまして、副議長を仰せつかりました土屋でございます。これからは、岩瀬議長とともに、勝浦市民の幸せの追求、福祉の増進、勝浦市政の発展のために一生懸命精進することをお誓い申し上げ、就任の挨拶といたします。これからもよ

ろしくご指導、ご協力のほど、お願い申し上げます。ありがとうございました。(拍手)

閉 会

○議長（岩瀬洋男君） 以上をもちまして、今期臨時会に付議されました事件はすべて終了いたしました。これをもちまして、平成29年5月勝浦市議会臨時会を閉会いたします。

午前11時27分 閉会

本日の会議に付した事件

1. 会期の決定
1. 会議録署名議員の指名
1. 勝浦市議長辞職の許可について
1. 議長の選挙
1. 議案第24号～議案第30号の総括審議
1. 副議長辞職の件
1. 副議長の選挙

上記会議の顛末を記載しその相違ないことを証し署名する。

平成 年 月 日

勝 浦 市 議 会 議 長

勝 浦 市 議 会 副 議 長

署 名 議 員

署 名 議 員